

高校神奈川

発行人 馬島 敦
 編集人 富貴大介
 横浜西区藤郷町2-197
 高校教育会館内
 神奈川県高等学校教職員組合
 TEL 045(231)2479
 FAX 045(231)2536
<http://www.fujidana.com/>

ごんかいの紙面
 シリーズ「共生への道」 2 2 2 3
 教職員定数の拡大へ
 憲法集会に300人
 ライブアプリナビを
 作ってみよう！
 私たちの給料ってどうなるの？

教育文化フォーラム
よこはま あさひ書庫
 今日の教育にもの申す！
12月4日 SUN
13時開演
 開場12時 / 終演15時予定
 横浜市旭区民文化センター
 「サンハート」
 (相鉄線二駅川原徒歩3分)
真打 金原亨馬玉 ほか
 家族・友人も参加OK!
 入場無料
 即定は締切で装おう！

交渉は越年



▲各分会から集まった代表者に交渉の経過を説明する幹事団

統一行動は延期

交渉再開は1月中旬か!?

16県労連
確定闘争

県当局は、人事委員会勧告の実施について「労働基本権制約の代償措置である人事委員会勧告を、尊重する」とするも、1月の地方財政計画・地方交付税の状況が分からない中、「現段階では判断できない」としました。

県労連幹事団は、最終交渉日である11月15日に完全実施を強く求めましたが、

ていた統一行動は、延期となりました。

交渉再開は、地方財政計画・地方交付税の状況が明らかになる1月中旬と見込まれます。

現時点での到達点、引き続き協議する課題

①介護・育児の休暇などについての前進、②忌引休暇の削減提案撤回、③総労働時間の短縮についてのとりくみの方向性の確認、④マタハラ指針、セクハラ指針の改訂、⑤再任用教諭の給与水準の来期改善提案、など5点を現時点で確認しています。(詳細④4面)

また、引き続き協議するものとして、①人事委員会

無利子奨学金、急ぎよ追加募集

住民税非課税世帯の成績要件撤廃



▲11月14日に行われた奨学金制度の拡充を求める11.14市民集会

10月28日、文科省は、第一種奨学金(無利子)について、成績基準を事実的に撤廃し、現在の高校3年生を対象に行うことを明らかにしました。また、同日、日本学生支援機構は、各高校へ追加募集を通知しました。

日本学生支援機構奨学金の秋の第2回募集にて、これまで春の第1回募集のみでしたか申し込みができませんでした。住民税非課税の世帯であれば、春の申し込みで成績要件が足りず申し込みできなかった生徒、第2種

住民税が非課税の世帯の生徒に対して、平均3.5以上という成績要件が撤廃されました。住民税非課税の世帯であれば、春の申し込みで成績要件が足りず申し込みできなかった生徒、第2種

を選択した生徒などはもちろんのこと、第1回の申し込みを忘れた生徒なども、新たに応募できます。神高教は、これまで奨学金問題

急な募集に現場は混乱も

しかし、今回の追加募集にもなつて、春期申し込みの結果通知が遅れること、春期に第2種を申し込みだ生徒が第2種を新たに申し込み対応を行うことが必要になり、奨学金担当者

プロジェクトを中心に、制度改善を求めてきました。が、今回の改定はそのとりにくみがある一定、反映されているものと言えます。

給付型奨学金の実現を

神高教は、国や県教委に対して、現場が混乱しないよう、働きかけを求めるとともに「情報」を発行、分代で説明をするなど、組織内学習を行っています。

11月14日、奨学金制度拡充を求める市民集会所が開かれ、各党が給付型奨学金について言及しました。与党は、給付型奨学金を早くれば17年度から、実施する考えを示しています。しかし、給付額が少額である、成績要件が高いなど限定的な制度になる懸念があります。生徒が安心して学べる奨学金の在り方を引き続き

奨学金事務の簡素化を引き続き、求めていきます。

定時制・通信制の課題を全国で共有

11月4日(5日)、日本教育会館で定時制・通信制全国集会所の手島純さんが、「定時制・通信制の現状と課題」をテーマに講演しました。講演の中で、株式会社立の通信制高校の問題の中に、新自由主義的な教育の危険性が潜んでいることを指摘するとともに、学校の「株式会社化」は通信制のみではなく、喫緊の課題であることを強調しました。



その後の分科会では、神工分会の峰尾正一さんが、35週間問題、長期休業日数の減少、教務規定や、生活指導の厳罰化の課題について、全国から集まった教職員と情報共有しました。

カンパのお願い

「神奈川子ども未来ファンド」へのカンパについて

神奈川の子どもの未来は、全国的に見てもきびしい環境におかれています。認定NPO法人の「神奈川子ども未来ファンド」は、市民・団体に寄付を募りそれらの団体の支援・助成をすることで、子どもたちに「投資」を行っています。

2002年度に神高教は「神奈川子ども未来ファンド」への参加を中央委員会で決定し、設立時から支援を行っています。つきましては、「神奈川子ども未来ファンド」基金へのカンパを要請します。

目標：組合員一人200円
 カンパ形式：任意カンパ
 本部集約：11月14日(土)第13回分代